

2013年6月12日

全国の教会・伝道所の皆様

現地支援委員会 委員長  
仙台北バプテスト教会 金丸 真

## 『現地支援委員会ニュースレター』第7号送付の件

主の御名を讃美いたします。

日頃から私たち東北にある教会・伝道所の被災地における歩みを覚えてお祈りくださり、心から感謝いたします。

先日は、私たちの委員会から「2013年3月11日 東日本大震災から二年を数えての祈り」とともに、東北の教会・伝道所の祈禱課題を送付させていただきましたが、全国の教会・伝道所の皆様から、3.11を覚える礼拝の中でこの祈りの言葉と祈禱課題を用いてくださったとのご報告を複数頂戴いたしました。ありがとうございました。これからも、現地の様子や祈りをお届けしたいと願っていますので、引き続きお祈りいただけると幸いです。

東日本震災から二年三ヶ月が経ちました。震災もだいぶ前の話のように感じ、関心も薄れてきている頃かもしれません。情報も、「現地は順調に復興している」という内容に偏ってきているようにも感じます。確かに順調に復興している地域や人もおられ、これは喜ぶべきことですが、中にはまだまだあの日から何も変わらない痛みと課題を前に立ち尽くす人もおられます。課題も複雑化し、地域ごとに静かな格差もあらわれています。そんな様々な状況に仕えるために、現地の教会・伝道所は祈りあい、協力して支援活動を継続させていただいています。

その様子、思いをお伝えしたいとの願いからニュースレターを発行してきましたが、今号から編集スタイルを新しくし、「東北の現状をまんべんなく」ではなく、毎号1箇所から2箇所の支援活動にしばって情報を集め、お伝えしていきたいと考えています。そのため、タイムリーさには欠けるかもしれませんが、被災地の現状のみならず、「どんな祈りをもって活動しているのか、どんな課題に向かい合っているのか」という現地の教会の歩みをご紹介しますと思います。ぜひ貴教会・伝道所にて掲示してご覧いただき、共に祈りを合わせていただければ幸いです。

最後になりましたが、貴教会・伝道所の歩みの上に、主の祝福と恵みが豊かにありますように、心からお祈りしています。皆様のご支援に心から感謝して。

在 主